

事務事業 No./名称	□サービス部門 教育-33 ■支援部門		市史編纂事業				
主管課	中央図書館(総務課)	関連課					
分野名	歴史環境						
目標(目標値)	歴史的公文書等の適切な保存						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	1,958	2,353	813			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,958	2,353	813			
	人員配置数	0.2	0.2	0.2			
	人件費(千円)	1,590	1,718	1,808			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	3,548	4,071	2,621			
	市民1人当りの経費(円)	20	23	15			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
市史編纂事業	1958千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 -		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	市史の編纂に向け、歴史的公文書等の整理・保存及び散逸防止を行った。また、歴史的公文書の保存に向け、選別のための基準作成について検討を進めた。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	歴史的公文書等の整理、保存及び散逸防止に係る事業の完全実施に向けて及び選別基準の策定を進める。		
課題解決のための取組	中央図書館での執行という形をとり、廃棄行政文書の中から歴史公文書等の選別作業の試行を開始しており、平成26年度の実施に向けての基準づくりについて協議を進めている。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	歴史的公文書等の選別作業を全庁的に実施するための選別基準の策定等の必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○			課長等名
		③有効性 ○		↓	
		④公平性 -		A	中央図書館長 菊池 隆

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
市史編纂事業	592	事務補助嘱託員報酬	2,057	1,621	○	○	○	—
		古文書解読相談謝礼	5	0	○	○	○	—
		事務補助嘱託員費用弁償	310	209	○	○	○	—
		資料保存用品等消耗品費	69	68	○	○	○	—
		資料保存作業用印刷製本費	50	50	○	○	○	—
		神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会負担金	10	10	○	○	○	—
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							